

令和2年度のPT・SGについて

令和2年度は、現行基本計画の3年度目に該当することから、現行基本計画に盛り込まれた各施策を着実に実施していくことが必要。

- 特に重要と考えられる施策について、参与会議にPTを設置し、集中的に検討。
- 新型コロナウイルス感染症が経済・社会に与えるインパクトに鑑み、新型コロナウイルス感染症についての海洋政策関連の論点については、参与会議、PTやSGにおいて適切に議論・検討。
- 次期基本計画の策定が視野に入る時期であることに鑑み、必要に応じ、過年度のPT・SGの検討成果を受けた施策への反映状況についても、参与会議として把握。

国際的な連携の確保 及び国際協力の推進に ついて検討するPT (国際連携・協力PT)

・ 国際連携・協力に関し、国際協力等を通じた国益の実現を基本的な視座として、現行基本計画の掲げる施策から、海洋状況の認識、海洋秩序の形成及び海洋秩序の維持の観点から検討課題を設定し、新たな情勢変化への対応や次期基本計画の策定を見据えて、国際協力等の在り方について、検討・提言。

気候変動が海洋環境 及び海洋産業に与える 影響について検討するPT (気候変動PT)

・ 地球温暖化を原因とする気候変動が、海洋の自然環境(気象・海象、生態系、沿岸域等)や海洋産業(海運、漁業、エネルギー事業等)に及ぼす影響を整理し、それらの産業等が取り組むべき適応策・緩和策等について、検討・提言。

海洋産業の競争力強化 に関するPT (海洋産業競争力PT)

・ 経済成長への貢献、我が国の経済安全保障の確保の観点から、国内外の社会経済情勢の変化を踏まえながら、海洋立国としてのプレゼンス向上にも資するべく我が国海洋産業の国際競争力の強化等を図るための課題や対応策等について、検討・提言。

海洋科学技術・イノベーション について検討する SG (科技イノベSG)

・ 海洋科学技術・イノベーションに係る内外の先進的取組や動向について俯瞰・把握するとともに、概ね10年先を見据えて、次期海洋基本計画期間において取り組むべき課題を整理し、今後の海洋政策の指針について、検討。